

読谷一コザ 延長タイブレーク8回2死一、二塁、比嘉晴夏の適時打で読谷の二走・知名沙夕希（手前中央）がサヨナラのホームイン＝9日、読谷村多目的広場（又吉康秀撮影）

2024
県高校
総体

第9日

県高校総合体育大会の第9日は9日、読谷村多目的広場でソフトボールの男女決勝が行われた。女子は読谷がコザを延長八回タイブレークの末に5-4で退けた。男子は読谷が前原・与勝・嘉手納に11-1で五回コールド勝ちし、4連覇を果たした。

ソフトボール

▽決勝

【男子】

（読谷村多目的広場）

読谷男女とも制す



知名、同点打に好走塁

女子

読谷の一塁走者はコザの手堅い守備に刺され、2死二塁に。後がない状況で打席に立つた知名は再び出塁。続く7番西平愛流が「このボールに懸けよう」と低めの内角を返し、1点を返した。最後は8番比嘉晴夏が「後ろにキャプテンがいる」とつなぐ意識で低めの球を左翼前に放つ。監督が手をくくると回す中、二塁から知名がホームへと全力疾走。「スローモーションのように見えた」と相手の捕球を横目にスライディングで生還した。逆転勝利に読谷は喜びを爆発させ、感涙した。2年連続で県総体決勝で敗れていたコザとの因縁の対決。「漫画のような展開だった」（知名）で今年は読谷の逆転勝利に終わった。（吉川峻）

ハイライト

1-3で迎えた六回裏、読谷に最大のチャンスが訪れた。2死満塁で6番知名沙夕希が打席に立つ。「この時のために毎日家でもバットイング練習をしていた」。1球目はストライク、2球目は空振り。追い込まれたが、「思いきり空振りしたから緊張がほぐれた」。3球目を左翼前に運び、2人を生還させた。同点で七回を終え、試合は一塁走者を置いて始まる延長タイブレークに突入した。八回表にコザが1点を追加し、読谷は再び窮地に立たされた。

前原・与勝・嘉手納

読谷 001000 12800X 111

（五回コールド）

（前）崎原一スチュアート

（読）田中、與那嶺下地

▽本塁打 屋我2、仲田

島袋（以上読）

▽三塁打 知花（前）

▽二塁打 島袋2、與儀

（以上読）

【女子】

▽決勝

コザ

000201001 5x4

読谷 001000202x4

（延長八回タイブレーク）

（読）仲本、山城

▽本塁打 喜金場（コ）

▽三塁打 仲宗根（コ）松

田（読）

屋我（男子）本塁打で勢い 集大成で全国制覇目指す

〇…男子決勝は読谷が圧倒的な強さを見せた。1番屋我悠喜がいきなり本塁打を放ちチームを勢いづける。2本塁打を含む4打点を挙げた屋嘉は「1番としてチームを盛り上げることができた」と喜んだ。三回にバントや走塁も絡めながら、屋我らが随所で長打を放ち、8点の大量得点を稼いだ。眞榮田徹主将は「下位打線が小

技でピッチャーをかき乱す読谷がやりたいプレーができた」と納得した。

3月の全国選抜は8強入りしたが、雨天のため準々決勝は行われず、不完全燃焼に終わった。眞榮田は「この時の悔しさをバネに全国で上に行くためにやってきた」と集大成で全国制覇を目指す。

（古川峻）

